

所 報

2021. 1~12

2021年1月から12月までの社会科学研究所の活動は以下のとおりである。

1. 機関及び人事

1. 定例所員総会

所員の総意のもとに、各所員の積極的な参加を活力にして、本研究所を民主的に運営し、社会科学の総合的研究を推進していくために努力をしてきた。今後も、所員の意見・希望等に積極的に応えていきたい。

- (1) 第117回定例所員総会 2021年6月5日(土) 10:00 ~ 12:30 オンライン(Teams) 会議室
議事：所長挨拶、所員等の異動、2021年度社研体制、2020年度事業報告、同会計報告、2021年度事業計画案、同予算案、その他、すべての議案は承認された。
- (2) 第118回定例所員総会 2021年12月11日(土) 10:00 ~ 12:30 オンライン(Zoom) 会議室
議事：所長挨拶、所員等の異動、2021年度事業中間報告、同会計中間報告、2022年度事業計画案、同予算案、その他、すべての議案は承認された。

2. 所員の異動(2021.1.1以降)

1. 所員の委嘱・解嘱

委嘱：吾郷貴紀(商)、朝倉健男(経)、板井広明(経)、小林貴徳(国)、田中正敬(文)、
中原孝信(商)、目黒良門(営)、森 啓輔(経)
解嘱：上田和勇(商)、内山哲朗(経)、笠原伸一郎(営)、川崎誠(営)、鈴木章俊(経)、
村上俊介(経)
(以上、定年退職)、野口 旭(経)、李春霞(以上、依願退職)

2. 研究参与の委嘱・解嘱

委嘱：上田和勇、内山哲朗、笠原伸一郎、鈴木章俊、村上俊介
解職：佐々木金三(ご逝去)、柴田敏夫(ご逝去)、中村平治(ご逝去)、正村公宏(ご逝去)、
河辺宏(辞退)

3. 客員研究員の委嘱・解嘱

委嘱：浅野幸子、李春霞、李東勲、Carmen Grau Vila、MENS Virginie
解嘱：なし

4. 特別研究員の委嘱・解嘱

委嘱：なし

解嘱：朝倉健男

3. 運営委員、会計監査、事務局員の構成

1. 2020年度社研体制

運営委員		事務局員（○はチーフ）	
所長	宮崎 晃臣（経）	事務局長	樋口 博美（人）
事務局長	樋口 博美（人）	会計	○谷ヶ城秀吉（経）
運営委員	内山 哲朗（経）		佐藤 慶一（ネ）
	白藤 博行（法）		山縣 宏寿（経）
	蔡 イン錫（営）	研究会	○石川 和男（商）
	神原 理（商）		永島 剛（経）
	嶋根 克己（人）		長尾 謙吉（経）
会計監査		編集	○鈴木奈穂美（経）
	小西 恵美（経）		小池 隆生（経）
			徐 一睿（経）
			広瀬 裕子（人）
		文献資料	○恒木健太郎（経）
			塙 武郎（経）
		PC／HP	○高萩栄一郎（商）
			吉田 雅明（経）

2. 2021 年度社研体制

	運営委員		事務局員（○はチーフ）
所長	大矢根 淳（人）	事務局長	小池 隆生（経）
事務局長	小池 隆生（経）	会計	○谷ヶ城秀吉（経）
前事務局長	樋口 博美（人）		河藤 佳彦（経）
運営委員	兵頭 淳史（経）	研究会	○長尾 謙吉（経）
	白藤 博行（法）		石川 和男（商）
	蔡 イン錫（営） 21 年度不在		恒木健太郎（経）
	神原 理（商）	編集	○鈴木奈穂美（経）
	嶋根 克己（人）		塙 武郎（経）
			杉橋やよい（経）
会計監査	坂口 明義（経）	文献資料	○徐 一睿（経）
			山縣 宏寿（経）
		PC / HP	○高萩栄一郎（商）
			吉田 雅明（経）

4. 事務局会議・運営委員会

1. 事務局会議

2020 年度（2021.1.1 以降）

(11) 1 月 19 日（火）第 11 回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施

- ① 2020 年度春季実態調査（応募状況、企画内容、実施の判断について）
 - ② 特別研究会企画（春季実態調査事前研究会〔福井の地場産業と地域（仮）〕（2/8））
 - ③ 定例研究会申請（定例 C（申請者：宮寄晃臣所員）〔世紀を跨いで語り継ぐ社研〕（2/3）、定例 C（申請者：田中隆之所員）〔コロナ禍から抜け出した中国の強みと弱み、そして機会〕（1/30）、定例 C（申請者：田中隆之所員）〔ユーラシアにおけるロシアと中国、そして海の日本〕（2/20））／実施済定例研究会（8/8 実施：定例 C（申請者：稲田十一所員）の取り下げ）
 - ④ 所報：月報進捗、年報（第 55 号）進捗（1/19 現在）／投稿論文掲載拒否について／所報投稿諸注意とチェックリストの作成について
 - ⑤ PC/HP：月報 PDF 化作業の委託
 - ⑥ 2020 年度予算執行状況・支出予定
 - ⑦ 2021 年度客員研究員の継続申請
 - ⑧ 今後の日程（第 12 回事務局会議 1/26）
- 〔報告〕新事務職員 高田万貴氏就任（1/7 ～）あいさつ

- (12) 1月26日（火）第12回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①2020年度春季実態調査応募状況
 - ②定例研究会申請（定例C（申請者：小池隆生所員）「川崎市域の地域福祉における「公私協働」の現状と課題」（2/17））
 - ③所報：月報進捗、年報（第55号）進捗（1/26現在）、叢書完成
 - ④文献資料：中国統計年鑑資料の納品（3分の2）
 - ⑤PC/HP：年報PDF化
 - ⑥アルバイト使用のコロナ対策本部への申請と許可
 - ⑦2020年度予算執行状況
 - ⑧今後の日程（第13回事務局会議3月上旬、第3回運営委員会・第14回事務局合同会議3/18）
- (13) 2月12日（金）第13回事務局会議 ※メールによる持ち回り審議（2月16日審議終了）
- ①2020年度グループ研究および特別研究助成金報告書メ切的3月8日までの延期（承認）
⇒その後2月26日には、2月17日に学長名と学務課名による「令和2年度研究所補助金の予算執行（新型コロナウイルス感染症による未実施）について」の文書を受け、グループ研究・特別研究助成金を社研本体へ返納可とするメール審議を行う（承認）
 - ②CEICデータベースの契約（契約期間9～12か月、予算150万程度）の承認
- (14) 3月10日（水）第14回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
- ①前回臨時事務局会議（2/12）の第13回事務局会議への繰り上げ（承認）
 - ②2020年度春季実態調査（北陸－関西、3/24-27）実施の決定（承認）
 - ③2021年度グループ研究A（2件）および特別研究（2件）継続申請／2020年度休止のグループ研究A（大矢根G）の復帰願いと同一グループの特別研究3年目へのスライド（事務局承認）
 - ④2021年度新規所員申請（事務局承認）
 - ⑤2020年度客員研究員解嘱および継続申請状況、2021年度新規客員研究員申請（事務局承認）
 - ⑥客員研究員の遡及承認（2021年度から前期総会で承認された客員を4月に遡って所属を承認）
 - ⑦2021年度新研究参与候補（6名）（事務局承認）
 - ⑧所報：月報進捗、年報（第55号）進捗（3/10現在）
 - ⑨文献資料：山田盛太郎文庫、藤本武文庫の修復・製本の納品
 - ⑩PC/HP：非破壊分PDF化作業進捗
 - ⑪CEICデータベースの購入と契約内容
 - ⑫月報（685号）原稿料過剰払いについて（経緯と対応）
 - ⑬2020年度予算執行状況
 - ⑭今後の日程（3月30日事務局会議開催の可能性）
[報告] グループ研究、特別研年度末報告書提出状況

（15）3月18日（木）第15回事務局会議（第3回運営委員会との合同会議）

※オンライン（Teams 2020社研合同会議）による実施

- ① 2021年度グループ研究A（2件）および特別研究（2件）継続申請／2020年度休止のグループ研究A（大矢根G）の復帰願いと同一グループの特別研究3年目へのスライドについて（運営委員会承認）
- ② 2021年度新規所員申請（運営委員会承認）（所員：久木元美琴氏（文）、客員研究員：荒井英治郎氏）
- ③ 2020年度客員研究員解嘱および継続申請状況、2021年度客員研究員申請（運営委員会承認）
- ④ 客員研究員の遡及承認（2021年度から前期総会で承認された客員を4月に遡って所属を承認）
- ⑤ 2021年度新研究参与候補（6名）（承認）
- ⑥ 所報：月報進捗、年報（第55号）進捗（3/18現在）
- ⑦ 文献資料：中国統計年鑑資料の納品
- ⑧ PC/HP：書誌情報について
- ⑨ CEIC データベースの購入（契約内容と管理方法）
- ⑩ 2020年度予算執行状況
- ⑪ 今後の日程（3月30日事務局会議開催の可能性）

〔報告〕春季実態調査（北陸－関西、3/24-27）実施決定の報告

（16）3月30日（火）第16回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施

- ① 社会科学研究所「規程・細則・内規集」改正：年報・月報の原稿料に関する内規、年報・月報の編集に関する内規、謝金に関する内規、の改正
- ② CEIC データベースの契約内容の確認
- ③ 所報：月報進捗、年報（第55号）進捗（3/30現在）
- ⑦ 2020年度予算執行（締めむけて、2019年度繰り越し分について、含む）

〔報告〕2020年度春季実態調査（北陸－関西、3/24-27）報告

2021年度

（1）4月20日（火）第1回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施

- ① 2021年度社研運営体制

事務局・運営委員の体制／所員の異動／新規所員、研究参与の推薦と承認

- ② 2020年度報告（「2020年度事業報告書」：3/30学務課提出、に基づき）

研究調査事業報告（定例研究会、シンポジウム、夏季・春季実態調査、研究助成等）／所報の刊行（年報、月報、叢書）／文献資料（山田盛太郎文庫＋藤本文庫の収集と整理）／PC/HP、これらをふまえた2020年度決算報告

- ③ 2021年度事業計画および現在の進捗

特別研究会企画（夏季実態調査：翌年の春季実態調査の予備調査（パイロット視察）等を研究会担当者中心に実施、春季実態調査：9月以降、11月までに準備に入れそうな状況であれば行

うことを確認)、公開シンポジウム、特別研究助成、グループ研究助成の新規募集(5/11〆切) + 助成金受け渡し日程承認(4/21、5/18) / 所報刊行(月報(No.694 ~ 705)、年報56号刊行予定・エントリー締め切り(6月末)) / 叢書(第24号)編集体制・契約書作成段取等 / 特別文庫の製本と整理の継続 / PC/HP(リポジトリによる公開作業の継続)、これらをふまえた2021年度予算案ポイント

④2021年度前期社研総会(6/5)、運営委員会・事務局合同会議(5/26)、事務局会議(5/4)開催日程

(2)5月4日(火)第2回事務局会議 ※オンライン(Teams チーム社研事務局)による実施

①2021年度社研体制

(新規所員、参与、客員の申請・推薦:新規3名(+1名)、客員推薦1名)

②定例研究会申請状況(この時点で無し)

③特別研究助成、グループ研究助成の申請状況(この時点で無し) / 特別研究、グループ研究、継続グループへ受け渡し(振込および説明)(4月21日)完了

④所報刊行予定(年報募集、応募締切2021年6月30日(火)原稿締切2021年10月20日(火) / 紀要(とくに月報)エントリーシートの整備を行うことを確認

⑤文献資料:CEICデータベース利用講習会(講師派遣調整5月11日、14日、17日のいずれか昼休みで要請)

⑥総会日程6月5日(土)開催時間(案)10:00 ~ 12:30

⑦今後の日程:第3回事務局会議:5月11日(火)12:20 ~ 13:00 / 第1回運営委員会・第4回事務局合同会議:5月25日(火)12:20 ~ 13:00 /

(3)5月11日(火)第3回事務局会議 *メールによる持ち回り審議

①2021年度社研体制:新規所員、参与、客員の申請・推薦 / 新規所員申請:板井広明(経)、目黒良門(営)、森啓輔(経) / 新規参与申請:上田和勇(商)、村上俊介(経)現在2名、他に事前内諾2名 / 新規客員研究員申請:李春霞(環日本海経済研究所調査研究部)(推薦者:大橋英夫所員、稲田十一所員)(第2回事務局会議での承認したことを再確認)

②2021年度事業計画:特別研究会 / 春季実態調査:別途開催の4役会議をふまえた案を次回事務局会議で提起 / 特別研究助成、グループ研究助成募集(結果と延期(再募集)について)

③2021年度新規研究助成(5月11日〆切)の途中経過と承認:グループ研究Aに0件、グループ研究B:4件 ◇「総合商社機能の時系列的な変化とその認知に関する予備的研究」(谷ヶ城秀吉(責)・中村吉明・田中隆之・大島久幸(客員)の4名) ◇「社会運動ユニオニズムの日韓比較」(兵頭淳史(責)・永江雅和・枅田大知彦・金美珍(客員)の4名) ◇「過疎地域におけるくらしの実態と自律的再構築についての研究-雇用と福祉の現状から-」(樋口博美(責)・馬場純子の2名) ◇「経済思想史研究の現在 経済学とその周辺をめぐって」(吉田雅明(責)・恒木健太郎・板井広明(申請中)・高口僚太郎の4名)、特別研究助成0件

④2021年度新規研究助成の再募集(承認)再募集・締め切り5月13日(木)再募集開始、5月21日(金)締切 / 前回同様、メールでの申請書類の提出を可とする

⑤所報の刊行予定 所報(年報、月報):月報(No.694 ~ 698・699)刊行予定(※以下、5月11

日時点の今後の予定) No.694 (4月号) 石川所員 (入稿済み)、徐所員 (予定) / No.695 (5月号) 徳田参与 (5月末入稿予定)、他所員予定 / No.696 (6月号) 劉客員所員 (5 / 20入稿予定)、他所員予定 / No.697 (7月号) 所員予定 / No.698・699 (8・9月号) 春季実態調査特集号 (応募開始予定) / 年報 (第56号) 募集: 5月6日 (木) 原稿募集開始 (エントリー締め切り6月末日) / 叢書 (第24巻) 2019年度終了特別研究土屋G / 令和2年5月末日専大センチュリーとの契約

- ⑥文献資料 (整理・製本): 資料継続購入、CEICデータベース使用方法講習会 (5月14日金曜日12時20分~13時)
- ⑦PC/HP: 作業アルバイト募集 大学院生で調整中
- ⑧今後の日程: 第1回運営委員会・第4回事務局合同会議: 5月25日 (火) 12:20 ~ 13:00 / 2021年度社研前期総会: 6月5日 (土) 10:00 ~ 12:30 オンライン開催
- (4) 5月25日 (火) 第4回事務局会議 (第1回運営委員会との合同会議)

※オンライン (Teams チーム社研事務局) による実施

- ①所長挨拶
- ②2020年度事業報告
- ③2020年度会計 (収支決算) 報告 (2020年度会計監査報告含)
- ④2021年度事業計画案 / 2021年度研究所の運営体制 / 社研組織・運営体制と2021総会の予定
所員の異動 新所員の申請と承認 / 事務局会議・運営委員会 / 研究調査事業 / 定例研究会 (今後の予定) / 別研究会: 2021年度 夏季実態調査、春季実態調査 / 研究助成: 2021年度継続・新規の研究 (グループ研究A,B・特別研究) / 所報の刊行 / 年報: 6月末日メ切56号のエントリー状況 (月報: 月報4~9月号の刊行・編集進捗状況、叢書: 『叢書 (第24巻)』 (代表土屋昌明所員) の編集計画) / 文献資料の収集・整理 / CEICデータベース / ホームページ・PC (文献資料の情報化システムの構築、所報のデポジットによる公開の進捗と今後)
- ⑤2021年度予算案
- ⑥第117回社研総会の出欠について確認 (6/5 (土) 10:00 ~ 12:30 @Teams 経由オンライン)
- (5) 7月6日 (火) 第5回事務局会議 ※オンライン (Teams チーム社研事務局) による実施
 - ①法人監査の指摘および対応について報告 / 総会の出席者数等確認 / グループ研の会計書類修正等確認
 - ②予算執行状況確認
 - ③定例研究会の承認: 吉田グループ (6月7日申請) 日時: 7月12日 (月) 15:00 ~ 17:00
報告者: 板井広明 (所員) テーマ: ベンサムの功利主義とパノプティコン構想〈見る-見られる〉関係の再検討 Zoomによるオンライン開催 ※謝金等の支出は生じない予定 (承認)
 - ④所報の進捗状況: 年報 (エントリーメ切後の2名追加申請の取り扱い / 所報デジタル化作業 / 2021年1・2月合併号執筆者への確認取り付け
 - ⑤秋のパイロット視察の可能性、冬季シンポジウム準備確認
 - ⑥研究所合同研究室 (神田) 運営について: 神田合同研究室の利用予約について (「神田分室の

利用に関する内規」前提）／研究所事務局長でTeams内にチームを設置そこでのカレンダーに利用意向を書き込むことを確認／6／29実施（11時～）の3研究所事務局長「意見交換会」@社研／電子黒板などは購入せずに、大学にあるホワイトボードを搬入して試行予定であることを確認

⑦備品の購入について：オンライン会議用にWebカメラ（5万円超）／モニターを消耗品扱い

（6）9月16日（木）第6回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施

①予算執行状況報告確認

②定例研究会の承認：徐グループ（7月9日申請）：事後承認・日時：8月24日（火）14：00～16：00報告者：宮崎雅人（埼玉大学 人文社会科学部研究科教授）テーマ：コロナ禍と地域衰退、Zoomによるオンライン開催／飯沼グループ（9月13日申請）日時：10月19日（火）13：05～14：05報告者：小川健（所員）テーマ：ビットコインの法定通貨化における意義と問題点Zoomによるオンライン開催／飯沼グループ（9月13日申請）日時：10月30日（土）13：30～15：30

報告者：佐藤秀夫（東北大学 名誉教授）テーマ：An Input Trade Model with Keynesian Unemployment: Bridging a Gap between Trade Theory and International Input-Output Analysis（Zoomによるオンライン開催）国際価値論研究会主催、社研は共催（以上、承認）

③所報：所報進捗状況／所報エントリーシート改定およびデジタル化登録許諾について

④春季実態調査：「近代化遺産を通して学ぶ社会変化」として準備を進めること承認

⑤社研主催シンポジウムSDGsシンポジウム「SDGsをめぐる現実と思想」2022年1月29日（土）開催予定

⑥文献・資料整理：藤本文庫の修復整理に関して（資料5）中性紙購入等、資料整理に関わる費用が追加発生する／藤本文庫の整理業務ならびに発生する謝金について確認

⑦2021年度後期総会12月11日（土）予定

（7）10月19日（火）第7回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施

①予算執行状況確認

②グループ研究助成・特別研究助成支出費目改定について：グループ研究助成および特別研究助成の遂行に関連し、データの収集や整理、アンケートの実施など業者に委託して実施するグループの増加に鑑み、来年度以降、資料等複写費→印刷・複写費（1つの費目に統合して問題ないと判断）、印刷費→通信・運搬費、通信・運搬費→謝金（内規の用語に合わせて変更）、謝礼費→外注費にそれぞれ費目を変更する（承認）

③所報進捗状況：鈴木編集担当チーフより以下報告／7月号まで納品済。原稿料の支払い済／8・9月合併号（春季実態調査特集号）は校正が進んでいる。2本の原稿が未入稿。11月半ばの発行をめざす／10月以降の月報は、以下の時期の発行をめざしている。10月号（700号）…11月中旬の入稿、12月上旬の発行、11月号（701号）…12月上旬の入稿、1月上旬の発行【徳田論文提出済】、12月号（702号）…12月上旬の入稿、1月上旬の発行、1月号（703号）…予定通り（12月20日入稿、1月20日発行）、2月号（704号）…予定通り（1月20日入稿、2月下旬の発行）、3月号（705号）…予定通り（1月20日入稿、2月下旬の発行）／3月号（705号）

に関して、例年、研究助成の成果報告などを理由にしたエントリーがあることが想定される／月報は2本の掲載を標準としているが、年度前半は論文1本での発行が続いたので、12・1月号が3本の掲載になっても予算上大きな問題とならない／700号記念号の発行、月報10月号は、700号記念号となる。大矢根所長から700号記念号への寄稿予定。600号同様、601～700号の総目次・索引を掲載する

- ④春季実態調査：「近代化遺産を通して学ぶ社会変化」予定行程確認／長尾研究会担当チーフより下記報告／日程（案）：2月28日（月）～3月2日（水）または3月1日（火）～3月3日（木）2泊3日（2日目と3日目は入れ替え可能）今回、足尾銅山訪問は諦め桐生市内で1日調査・見学することとした。可能なら、2022年度夏期に桐生から足尾、日光、宇都宮で「近代化遺産を通して学ぶ社会変化 パート2」を企画。（1日目）昼食後にJR高崎駅集合、富岡製糸場（団体予約）こんにゃくパーク（団体予約）（2日目）桐生、足利方面、桐生市内の織物関連施設やまち歩き、織物参考館“紫”（月曜日休館）、桐生新町重要伝統的建造物保存地区（3日目）碓井方面訪問、夕刻にJR高崎駅解散／事前研究会の講師候補第1回 12月21日（火）13時から15時（仮）・大島登志彦先生（高崎経済大学名誉教授）：近代化遺産を通して学ぶ社会変化、第2回1月後半から2月に予定 下記は候補の方々・西野寿章先生（高崎経済大学）：碓氷峠鉄道施設の保存と活用・関村オリエ先生（群馬県立女子大学）：ライフストーリーとまちの記憶（桐生）・橋野知子先生（神戸大学）：産地比較からみた桐生／事前調査（訪問）11月に桐生清水宏康氏（株式会社桐生再生）の協力を得つつ、桐生の近代化遺産とまちづくりについて実施する予定
- ⑤研究倫理審査にかかわる社研内での部局設置に関して：各学部、研究所でも設置するよう要請を受けてどのようにしていくか事務局内で意見交換
- ⑥今後のスケジュール：11月19日（金）20日（土）春季実態調査プレ視察：桐生市／2021年度後期総会12月11日（土）を予定
- （8）11月2日（火）第8回事務局会議 ※オンライン（Teams チーム社研事務局）による実施
 - ①予算執行状況
 - ②定例研究会／特別研究会：社研本体実施（実態調査の事前研究会として）「近代化遺産を通して学ぶ社会変化」（仮）大島 登志彦 氏（高崎経済大学 名誉教授）日時 12月21日（火）13時～15時 @ハイブリッド開催※大島先生は社研会議室より講演配信を予定
 - ③来年度の事業計画（案）および予算要求について確認
 - ④今後のスケジュール：11月19日（金）20日（土）春季実態調査プレ視察：桐生市、桐生清水宏康氏（株式会社桐生再生）参加予定：大矢根、河藤、長尾、石川、小池、11月30日（火）第9回事務局会議、12月07日（火）第10回事務局会議および第2回運営委員会合同会議、12月11日（土）所員定例総会 議案準備中、12月21日（火）実態調査事前研究会（定例研究会）
- （9）11月30日（火）第9回事務局会議
 - ※ハイブリッド（Teams チーム社研事務局および社研会議室）による実施
 - ①支出状況確認
 - ②2021年度春季実態調査（案）確認

③特別研究会 第1弾12月21日（火）13：00～15：00テーマ 近代化遺産に学ぶ社会変化

報告者 大島登志彦氏（高崎経済大学名誉教授）

④所報進捗：エントリー取り下げ報告確認

⑤後期総会の準備について（次回12月7日（火）合同会議提出用の議案書構成確認）

⑥第14期 自己点検・評価中間報告に関して所長より報告承認

⑦社会科学研究所 所内研究倫理審査「部門」の設置について（事務局長メモに基づき意見交換）

⑧今後の日程について：第2回運営委員会・第10回事務局 合同会議：12月7日（火）12：30

～13：05／2020年度社研後期総会：12月11日（土）13：00～15：00→Google フォームによる出欠／第11回事務局会議：1月18日（火）or 25日（火）12:20～13:05（案）

／第3回運営委員会・第12回事務局合同会議：3月17日（木）12:30～13:05（案）

(10) 12月7日（火）第10回事務局会議（2021年度第2回運営委員会との合同会議）

※ハイブリッド（Teams チーム社研事務局および社研会議室）による実施

①支出状況確認

②2021年度春季実態調査（案）確認

③特別研究会 第1弾12月21日（火）13：00～15：00テーマ 近代化遺産に学ぶ社会変化

報告者 大島登志彦氏（高崎経済大学名誉教授）

④所報進捗：エントリー取り下げ報告確認

⑤PC/HP ホームページにグループ研究の紹介設置について

⑥後期総会の準備について（次回12月7日（火）合同会議提出用の議案書構成確認）

⑦第14期 自己点検・評価中間報告に関して所長より報告承認

⑧社会科学研究所 所内研究倫理審査「部門」の設置について（事務局長メモに基づき意見交換）

⑨今後の日程について：第2回運営委員会・第10回事務局 合同会議：12月7日（火）12：30

～13：05／2020年度社研後期総会：12月11日（土）13：00～15：00→Google フォームによる出欠／第11回事務局会議：1月18日（火）or 25日（火）12:20～13:05（案）

／第3回運営委員会・第12回事務局合同会議：3月17日（木）12:30～13:05（案）

2. 運営委員会

(1) 3月18日（木）事務局会議との合同会議：事務局会議（15）に同じ

(2) 5月25日（火）事務局会議との合同会議：事務局会議（4）に同じ

(3) 12月7日（火）事務局会議との合同会議：事務局会議（10）に同じ

5. 研究調査活動

1. 定例研究会（公開研究会、特別研究会、基準A・B・Cを含む）

2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年より開催数が減少したものの、オンライン開催を中心に、全学部にまたがる所員、研究参与、客員研究員の幅広い問題関心を積極的に採用、社会の諸問題に対する多様な社会科学的アプローチを試み、研究成果を公表してきた。

2021年度の研究会開催申請の提出メ切は、下記のような日程に進めてきた（★参照）。一定の条件を設けた上で緩やかに運用してきた。

★2020年度の研究会申請申込みメ切日程

（5月開催／なし）（6月開催／定めず）（7月開催希望／定めず）（8月開催希望／7月1日）（9月開催希望／7月末日）（10月開催希望／9月15日）（11月開催希望／10月14日）（12月開催希望／11月18日）（1月開催希望／12月20日）（2月開催希望／12月20日）

参考 定例研究会の区分

◇定例研究会A：月一回程度の開催として、一回の予算枠は10万円程度（※15万円限度）とする（謝金と交通費、懇親会費等を含む総額）。

◇定例研究会B：定例研究会予算枠を使用しない研究会（予算はつかないが、広報は社研が担う）

◇定例研究会C：G研究成果報告会として研究会（開催予算はG研予算）

（※グループ研究所助成（特別、A）の成果報告会は定例研究会として開催されることになっている。）

2020年度（2021年1月以降）

定例研究会C：研究助成A（稲田十一グループ）

（6）1月20日（水）14：00～17：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：ポスト・コロナ時代における中国の国際経済秩序へのインパクト

①『米中貿易戦争』の検証／報告者：大橋英夫所員

②中国をめぐるサプライチェーンの再編／報告者：池部亮氏（専修大学商学部）

参加者：14名

定例研究会C：研究助成A（田中隆之グループ）[所員のみ]

（7）1月30日（土）14：00～16：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：コロナ禍から抜け出した中国の強みと弱み、そして機会

ーポストコロナのユーラシア地政学（1）

報告者：結城隆氏（荒井商事常勤顧問）

参加者：22名

定例研究会C：研究助成A（村上俊介グループ）[所員のみ]

（8）2月3日（水）14：00～17：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：座談会「村上俊介先生の歴史をたどる—社研・世紀をまたぐ35年—」

報告者（語る人）：村上俊介所員

参加者8名

特別研究会：社研春季実態調査事前研究会 [所員のみ]

（9）2月8日（月）16：00～17：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：めがね産業のこれまでと各種取り組み

報告者：伊藤幸彦氏（福井県眼鏡協会専務理事） 島村泰隆氏（福池眼鏡協会事務局長）

参加者：18名

定例研究会C：研究助成A（小池隆生グループ）〔所員のみ〕

(10) 2月17日（水）13：00～15：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：川崎市域の地域福祉における公私協同の現状と課題

報告論題：公私協働における非対称性をいかに軽減するのか-地域福祉実践の事例を通して

報告者：鈴木美貴氏（城西国際大学）

コメンテーター：鈴木奈穂美所員、畠中亨客員研究員

参加者数：12名

定例研究会C：研究助成A（田中隆之グループ）〔所員のみ〕

(11) 2月20日（土）16：00～18：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：ユーラシアにおけるロシアと中国、そして海の日本

ーポストコロナのユーラシア地政学（2）

報告者：西谷公明氏（合同会社N＆Rアソシエーツ代表）

参加者：21名

2021年度

定例研究会B：研究助成B（吉田雅明グループ）〔所員のみ〕

(1) 7月12日（月）15：00～17：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：ベンサムの功利主義とパノプティコン構想〈見る-見られる〉関係の再検討

報告者：板井広明所員

参加者：5名

定例研究会C：研究助成B（吉田雅明グループ）〔所員のみ〕

(2) 8月6日（金）10：00～12：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：マルクス主義的歴史理論の展開：山田盛太郎から大塚久雄へ

報告者：恒木健太郎所員

参加者：7名

定例研究会C：特別研究助成（徐 一睿グループ）〔公開〕

(3) 8月24日（火）14：00～16：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：コロナ禍と地域衰退

報告者：宮崎雅人氏（埼玉大学人文社会学研究科教授）

参加者：15名

定例研究会C：研究助成A（稲田十一グループ）〔所員のみ〕

(4) 10月19日（火）15：00～17：00／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：「一帯一路」下における日中経済協力

報告者：陳友駿氏（上海国際問題研究院・研究員）

参加者：- 名

定例研究会B：研究助成A（飯沼健子グループ）〔公開〕

(5) 10月19日（土）13：05～14：05／場所：オンライン（Zoom）

テーマ：ビットコインの法定通貨化における意義と問題点

報告者：小川健所員

参加者：- 名

定例研究会B：研究助成A（飯沼健子グループ）〔公開〕

(5) 10月30日（土）13：30～15：30／場所：オンライン（Zoom）

テ ェ マ : An Input Trade Model with Keynesian Unemployment: Bridging a Gap between Trade Theory and International Input

報告者：佐藤秀夫氏（東北大学名誉教授）

参加者：- 名

特別研究会：社研春季実態調査事前研究会〔所員のみ〕

(6) 12月21日（火）13：00～15：00

テーマ：近代化遺産に学ぶ社会変化

報告者：大島登志彦氏（高崎経済大学名誉教授）

参加者：12名

2. シンポジウム他

SDGsをめぐる現実と思想

日時：2020年1月29日（土）13：00～17：00

場所：オンライン（Zoom）

コーディネーター：恒木健太郎所員

報告者およびテーマ：

斎藤至氏（科学技術振興機構アジア・太平洋総合研究センター フェロー）

「SDGsをめぐる現実——特徴と指標から考える」

斎藤幸平氏（大阪市立大学大学院経済学研究科准教授）

「持続可能な開発は可能か—ストックホルム会議から半世紀に」

影浦亮平氏（千葉商科大学基盤教育機構専任講師）

「SDGsに見える社会思想の今」

コメンテーター：

大西 楠・テア（本学法学部准教授）

森原 康仁所員

参加者：120名

※なお、このシンポジウムを後日 YouTube にアップした。

<https://youtu.be/sYlleBljx5k>

3. 特別研究会企画

特別研究会における実態調査は夏および春の休暇中に実施されている。夏と春の合宿・集中研究会は、定例研究会では実施が困難な実態調査や自治体関係者との特定のテーマに関する討論会や工場見学などを組み込んだ多様な実態調査を開催し、また所報で調査報告を行なっている。2021年3月（2020年度春季）には「北前船の足跡をたどる Part4 最終版（加賀～福井～京都～大阪）」と題した実態調査（2021.3.24-27）を実施した。2021年度の夏季実態調査は新型コロナウイルス感染症拡大により未実施としたが、春季実態調査の事前調査として桐生市に事務局員が訪問した。

（１）2020年度春季実態調査：北前船の足跡をたどる Part4 最終版（加賀～福井～京都～大阪）

夏季実態調査として予定されていた企画であり、また2月24日（木）～2月27日（土）として予定されていた日程も2021年3月24日（水）～27日（土）に変更しての実施となった。

[行 程]

第1日目：3月24日（水）

18：00 金沢市内ホテルロビーに集合〔金沢泊〕

第2日目：3月25日（木）※ここから移動はすべてバス

8：00 ホテル発

9：00～10：00 加賀北前船の里資料館

13：00～14：00 越前右近家

15：00～17：00 鯖江めがねミュージアム

18：30 敦賀市内ホテル着〔敦賀泊〕

第3日目：3月26日（金）

8：40 ホテル出発

9：00～10：00 人道の港敦賀ムゼウム

10：20～11：30 美浜原子力PRセンター

12：15～13：00 御食国若狭おばま食文化館

15：00～17：00 琵琶湖疎水産業遺跡を歩く、琵琶湖疎水記念館

18：00 京都市内ホテル着〔京都泊〕

第4日目：3月27日（土）

8：00 ホテル出発

9：00～10：30 今城塚古墳、歴史館

11：10～12：20 パナソニックものづくりイズム館

14：00～15：00 住吉大社（解散）

〔参加者：12名〕

（2）2021年度春季実態調査事前調査

11月19日（金）高崎市内ホテル前泊

11月20日（土）

8：30 ホテル出発

9：50～12：00 株式会社桐生再生代表取締役清水宏康氏より

桐生の街並みについて同行いただきながらレクチャーをいただく。

〔参加者：5名〕

（3）2021年度春季実態調査〔企画中〕

「近代化遺産を通して学ぶ社会変化」を2021年3月1日（火）～3日（木）で実施予定である。

4. 研究助成

（1）グループ研究助成A（所員4名以上・年50万円3年間・定例総会にて研究経過報告義務・1名以上論文発表義務・定例研究会にて成果報告会を開催すること）

2019年度発足

◇「日本経済の長期的問題点の整理と検討」

（田中隆之（責）・鈴木将覚・大倉正典・河藤佳彦・中村吉明・小島 直・朝倉健男の7名）

2020年度発足

◇「ポスト・コロナ時代における中国の国際経済秩序へのインパクト」

（稲田十一（責）・大橋英夫・徐 一睿・傅 凱儀・吉川純恵の5名）

2021年度新規

◇「国際経済・地域の展開と世界各地域・各領域の諸問題」

（飯沼健子（責）・小川 健・傅 凱儀・稲田十一・矢野貴之・塙 武郎・大倉正典・加藤浩平・大橋英夫・野部公一・泉 留維・内川秀二・狐崎知己・鈴木直次の14名）

（2）グループ研究助成B（所員2名以上・年20万円1年間・定例所員総会にて研究経過報告義務）

◇「総合商社機能の時系列的な変化とその認知に関する予備的研究」

（谷ヶ城秀吉（責）・中村吉明・田中隆之・大島久幸の4名）

◇「社会運動ユニオニズムの日韓比較」

（兵頭淳史（責）・永江雅和・枅田大知彦・金美珍の4名）

◇「過疎地域におけるくらしの実態と自律的再構築についての研究－雇用と福祉の現状から－」

（樋口博美（責）・馬場純子の2名）

◇「経済思想史研究の現在 経済学とその周辺をめぐって」

（吉田雅明（責）・恒木健太郎・板井広明・高口僚太郎の4名）

◇「ナッジと仕掛けを活用したフィールド実験-大麦ストローのソーシャル・プロモーション-」

（神原 理（責）・大林 守・吾郷貴紀・中原孝信の4名）

- (3) 特別研究助成 (5名以上・年100万円3年間・定例所員総会にて研究経過報告義務・年度内に
研究中間報告を定例研究会枠にて実施・助成終了後2年以内に『社会科学研
究叢書』刊行義務)

2019年度発足

◇「川崎市をフィールドとする産業・労働・生活の現状と課題に関する研究」

(小池隆生(責)・鈴木奈穂美・長尾謙吉・遠山浩・杉橋やよい・山縣宏寿・兵頭淳史・
宮寄晃臣・森啓輔・畠中 亨の10名)

2020年度発足

◇「ポスト・コロナ時代にかけての経済社会の推移－新自由主義の限界と望ましい経済社会」

(徐一睿(責)・森原康仁・小池隆生・鈴木奈穂美・宮寄晃臣・山縣宏寿・荒井英治郎の8
名、永島剛、広瀬裕子は国内研究により一時休止)

2021年度新規

◇「減災サイクルのステークホルダーと事前復興への取り組みの実相 Ⅲ～巨大災害(東日本
大震災／首都直下・南海トラフ地震)を射程に～」

(大矢根淳(責)・佐藤慶一・飯 考行・勝俣達也・堀江洋文・小林貴徳・田中正敬・
樋口博美・近江吉明・福島義和・所澤新一郎・宮定 章・李東勲・Carmen Grau・
浅野幸子・Mens Virgine ※の16名)

6. 所報の刊行

1. 『社会科学年報』第56号の刊行

所員の執筆申し込みに応じて『年報』第56号を編集・刊行する。印刷は450部。

『年報』第56号の製作ならびに出版契約については、佐藤印刷株式会社(吸収合併により株式会
社グラフィカ・ウエマツ)との契約を継続した。

論文

ラオスにおける外資系企業の影響とモータリゼーション

—自動車市場の形成とサービス展開—

石川和男(所員)

規範的な食の倫理の再検討

板井広明(所員)

カンボジア開発過程への中国の影響

—国際援助協調の衰退と権威主義化の連動の分析—

稲田十一(所員)

「封建制の危機」下におけるパンデミック発生の諸要因

—カペー王朝期からヴァロア王権成立期を中心に—

近江吉明(参与)

ビットコインの法定通貨化における意義と問題点

—エルサルバドルの法律を受けて—

小川 健(所員)

大規模産業クラスターの成長力を活かした地域産業クラスターの創出

—飯田・下伊那地域を事例として—

河藤佳彦(所員)

貨幣の再生産と貨幣社会の再生産

—テレ貨幣論の構造—

坂口明義 (所員)

CASA、MaaSによる自動車産業の構造変化

中村吉明 (所員)

「カスタマイズされたコミュニティ」によるコミュニティ通貨の滞留問題の改善

—ニューラルネットワークによる満足度予測に基づく

新良治真円・西部 忠 (外部・所員)

マルクスの唯物史観と歴史科学の可能性

新田 滋 (所員)

戦後日本政治と「首相演説」①

藤本一美 (参与)

所報

小池隆生 (事務局長)

編集後記

鈴木奈穂美 (編集担当チーフ)

2. 『月報』の刊行

第691号～第702号を所員等の投稿に基づいて刊行した。なお、『月報』の制作については、佐藤印刷株式会社 (吸収合併により株式会社グラフィカ・ウエマツ) との契約を継続した。毎号400部程度印刷。

今年度については、昨年度 (2020年度) 春季実態調査特集の合併号を刊行した。

2020年度 (2020年1月以降)

(9) 1月20日・2月20日 (691・692号合併号) : 2020年度社研シンポジウム特集号

「専修大学社会科学研究所2020年度公開シンポジウム 日本学術会議任命拒否問題をめぐって」

〈司会: 白藤博行 (所員) / 登壇者: 岡田正則 (外部)、小澤隆一 (外部)、佐藤 学 (外部)、
晴山一穂 (外部)、廣渡清吾 (参与)〉

「『日本学術会議任命拒否問題をめぐって』の司会を終えて」

白藤博行 (所員)

「日本学術会議法第17条による推薦と内閣総理大臣による任命との関係」

内閣府日本学術会議事務局

(10) 3月20日 (693号)

「ASEAN後発加盟国からの国際労働力移動をめぐる

地域統合マルチ・レベル・ガバナンスの可能性」

飯沼健子 (所員)

「専修大学社会科学研究所 座談会 (オンライン) 村上俊介先生に聞く—社研35年—」

村上俊介 (所員) 他

2021年度

(1) 4月20日 (694号)

「外部環境変化による小売業の試練と対応力—食品小売業を中心として—」

石川和男 (所員)

(2) 5月20日 (695号)

「日本映画の受容にみる中国人の市民意識の変化—ネット時代の中国社会の「小市民化」—」

劉 文兵 (客員)

(3) 6月20日 (696号)

「ベトナム投資環境の変遷と展望 —1990年代～2010年代の実査からの考察—」 小林 守 (所員)

(4) 7月20日 (697号)

「『コロナ下』での一斉休校 —その時何があったのか (1)

—東京都公立中学校校長小澤雅人氏ヒアリング記録 その1— 広瀬裕子 (所員)

(5) 8月20日・9月20日 (698号・699号) 合併号：2020年度春季実態調査特集号)

「北前船の足跡をたどる Part4 —加賀～福井～京都～大阪—行程記録」 樋口博美 (所員)

「北前船の組織・情報・インセンティブ」 高橋義博 (所員)

「福井県眼鏡産業の生成・展開と断続的環境変化

—地域産業集積における事業活動の継続— 石川和男 (所員)

「日本の眼鏡産業と産地福井・鯖江の盛衰—鯖江のフレームメーカーの動向—」 柴田弘捷 (参与)

「企業家レオ・メラメド：シカゴで金融先物を創始したイノベーター」 池本正純 (参与)

「今城塚古墳から古代王権を考える—継体即位の歴史的位相—」 宮寄晃臣 (参与)

「仲春の加賀・越前・若狭紀行」 高橋祐吉 (参与)

(6) 10月20日 (700号) 『月報』700号発行記念特集号特別研究助成「ポスト・コロナ時代に向け

ての経済社会の推移—新自由主義の限界と望ましい経済社会」成果報告

「コロナ禍の財政運営と政府間財政関係

—臨時交付金と財政調整基金の視点から— 徐 一睿 (所員)

「埼玉県のNPOと市民活動 —新型コロナウイルス感染拡大第1波から1年間の様子—」

鈴木奈穂美 (所員)

「『コロナ下』での一斉休校 —その時何があったのか (2)

—東京都公立中学校校長小澤雅人氏ヒアリング記録 その2— 広瀬裕子 (所員)

「日本における最低賃金の現状と失業への影響」 山縣宏寿 (所員)

(7) 11月20日 (701号)

「ベルンシュタイン文庫の全体史的研究

—オート・ロワール県におけるテルミドール事件前後の動き— 近江吉明 (参与)

「川崎市・都市システムを考える —都市政策と都市構造の統合—」 徳田賢二 (参与)

(8) 12月20日 (702号)

「社会構造変革の新潮流を取り込んだ地域経済振興方策

—長野県上伊那郡辰野町における取組みを事例として— 河藤佳彦 (所員)

「あいりん地区の再生と生活困窮者 —西成特区構想を踏まえて—」 福島義和 (参与)

3. 『社研叢書』第24巻刊行について

特別研究助成 (2017年度発足、2019年度終了のグループによる) 土屋昌明編『異文化社会の理解と表象研究』(下澤和義、上原正博、網野房子、根岸徹郎、Markus Nornes、秋山珠子、傅国涌、鵜飼哲、峯村傑、劉文兵、山口俊洋12名による執筆)が、2021年度刊行予定である。

7. その他の研究活動

1. 文献資料

（1）文献資料の収集

- ①社会科学分野にかかわるリファレンス資料に相当するもの（辞書、統計、白書、年鑑等）、および東アジア経済社会に関する文献の収集に重点をおく、という方針に基づいて文献資料の収集を進めてきた。
- ②メーリングリストや公式WEBサイトを通じて、広く所員から文献購入希望を募り、また、事務局より積極的に文献購入についての提案を行い、予算枠を考慮しながら随時購入してきた。今年度も中国統計書を、所員からの要望を鑑み年度末までに購入する。

（2）文献資料の修復、整理、配架等

2017年度から進めてきた山田盛太郎文庫、藤本武文庫、2つの特別文庫の修復、整理、配架作業を継続し、広く所員が利用できる状態をめざした取り組みを行ってきた。

①山田盛太郎文庫の修復・整理

山田盛太郎文庫の保管状況を確認し、修復・製本の必要なものを業者へ委託し400冊程度の修復を行った。

②藤本武文庫の整理

未整理のものが数多く残っていたため、2021年度も調査・分析・整理を学外の専門的知識提供者に協力依頼をして進めてきた。作業は2021年度内、そして2022年度も続く予定である。

2. PC／HP

（1）ホームページの充実

学内CMS化に対応しつつ、掲載コンテンツの内容など社会科学研究所ホームページの充実をすすめてきた。

（2）電子メールの活用

電子メール活用による通信業務効率化を引き続き推進した。所員に対する案内等の原則電子メール化（2007年度開始）を継続しており、総会案内に関しても電子メールでも案内を出している。また、出欠確認、委任状集約等についてはこれまで、往復はがき、研究室受付での回収等を継続してきたが、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を受けて、前期総会ならびに後期総会についてはGoogle フォームによる出欠確認を行った。

（3）所報のデジタル化と専修大学学術機関リポジトリへの登録

デジタル化を行った論文に関して、掲載許諾を得ている論文については、社会科学研究所ホームページに全文公開するよう作業を行ってきた（許諾を得ていない論文は、タイトル・著者のみを掲載することになっている）。

今後も社会科学研究所のホームページに掲載される公開論文（月報・年報）への書誌情報（掲載雑誌名、号数、発行年月、DOI等）を付ける作業の準備作業を進めていく。